

# 中国（上海）ビジネスサポート

## Monthly China News

\*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

### 【政治・経済】

- **李強総理が世界経済フォーラム年次総会でスピーチ**：李強総理は現地時間 16 日、ダボス・コングレスセンターで開かれた世界経済フォーラム（WEF）の年次総会に出席し、スピーチを行った。李総理はスピーチで、信頼の再構築、協力の強化、世界経済の回復促進に向けた提言として以下 5 点を挙げた：(1) マクロ経済政策の協調を強化し、多角的貿易体制を揺るぎなく維持し、世界経済の成長のためにより良く力を結集する (2) 国際的な産業分業協力を強化し、貿易と投資の自由化及び円滑化を揺るがず推進し、グローバルな産業・サプライチェーンの安定性及び円滑性をしっかりと維持する (3) 国際的な科学技術交流・協力を強化し、オープンで公正かつ差別のない科学技術発展環境を連携して築き、イノベーション要素の移動を制約する障壁を打破する (4) グリーン発展協力を強化し、この分野における障壁を打破し、グリーン・トランスフォーメーションを共同で推進し、共通だが差異ある責任の原則を堅持し、地球規模の気候変動に積極的に対処する (5) 南北協力と南南協力を強化し、持続可能な開発のための 2030 アジェンダを全面的に実行に移し、発展格差を解消し、インクルーシブな世界経済の構築に力を入れる。(1/17 新華社・人民網)
- **中国日本商会の調査によると、中国に進出した過半数の日系企業が昨年中国に新規投資を追加**：  
1月15日、中国日本商会会員企業向け『景気・事業環境認知アンケート』の結果が北京で発表された。アンケート調査の結果、中国に進出した過半数の日系企業が2023年に中国に新規投資を追加し、回答企業の51%が2024年以降の中国を「最も重要な市場」及び「三つの重要な市場の一つ」としている。中国日本商会会長、パナソニックホールディングス株式会社代表取締役/副社長執行役員の本間哲朗氏、はアンケート調査で「今年の投資は前年並みか若干増加した」と回答した企業は、製造業においても非製造業においてもいずれも5割を超えた、と紹介した。(1/15 第一財經)
- **中国の2023年GDPは5.2%増**：中国国家统计局が17日に発表したデータによると、中国の2023年通年の国内総生産（GDP）は126兆582億元（1元は約20.5円）で、不変価格に基づく計算では前年同期比で5.2%増だった。中国経済が年初に定めた約5%という成長率目標を達成し、2022年を2.2ポイント上回る数値である。国家统计局によると、中国経済は2023年の世界経済成長に対する寄与率が30%を超える見通しで、世界経済の成長における最大のエンジンだと言える。(1/17 人民網)
- **今年の春節旅行はどこが人気？ 海外は東南アジア、国内は冰雪観光**：2024年の春節（旧正月、2024年は2月10日）の観光市場は予約のピークを迎えている。業界の分析によると、今年の春節観光市場は「過去5年間で海外旅行が最も盛んになる」見込みだ。同程旅行のまとめたデータでは、現時点で2月8-17日に出発する飛行機の検索件数が前年同期の2倍近く増加し、そのうち国際路線は7倍近く増加。19年同期の水準を上回ったという。海外中・短距離旅行の目的地では、日本と韓国が2大人気目的地で、特に日本の北海道は今年の冬シーズンに突入して以来、人気上昇し続けている。国内旅行では同程旅行のデータより、冰雪観光が今年の春節旅行のテーマとして最も人気がある。スケートやスキーなどのアイス・スノーアクティビティ、各種の冰雪観光プログラムに対する観光客の関心は軒並み高い。(1/18 人民網)

## 【製造業関連・関連の政策等】

- ・ **中国 2023 年の自動車生産・販売台数、3,000 万台を突破**：中国自動車工業協会が 11 日明らかにしたところによると、2023 年は中国の自動車生産台数が前年比 11.6%増の 3,016 万 1,000 台、自動車販売台数が同 12%増の 3,009 万 4,000 台に達し、生産台数と販売台数が共に過去最高を更新。そのうち新エネルギー自動車は生産台数が同 35.8%増の 958 万 7,000 台、販売台数が同 37.9%増の 949 万 5,000 台だった。また中国税関総署が 12 日の発表により、23 年中国の自動車輸出台数は同 57.4%増の 522.1 万台に達し、日本を抜いて世界首位に躍進した。(1/11 人民網、1/12 新華網)
- ・ **2023 年、中国市場における携帯電話出荷台数は前年比 6.5%増の 2 億 8,900 万台**：中国情報通信研究院が 22 日に発表したデータによると、2023 年 1-12 月には、中国市場における携帯電話の出荷台数が前年同期比 6.5%増の累計 2 億 8,900 万台に達した。統計によると、23 年 12 月の同出荷台数は同 1.5%増の 2,827 万 5,000 台、そのうち 5G スマートフォンは同 4.2%増の 2,420 万台となり、同期の携帯電話出荷台数の 85.6%を占めた。23 年通年の 5G スマホ出荷台数は前年比 11.9%増の 2 億 4,000 万台で、同期の携帯電話出荷台数の 82.8%を占めた。23 年 1-12 月には、中国国産ブランドの携帯電話出荷台数が同 1.1%増の累計 2 億 3,100 万台に達し、同期の携帯電話出荷台数の 79.9%を占めた。発売された国産ブランドの新機種は同 5.5%増の累計 406 種類に上り、同期に発売された新機種の 92.1%を占めた。12 月の国産ブランド携帯電話出荷台数は同 11.7%増の 2,455 万 4,000 台で、同期の携帯電話出荷台数の 86.8%を占めた。(1/23 人民網)
- ・ **中国 2023 年の中央企業の業績 営業収益 39 兆 8,000 億元**：国務院国有資産監督管理委員会は 24 日、2023 年の中央企業（中央政府直属の国有企業）の業績を発表した。それによると、同年の中央企業の営業収益は 39 兆 8,000 億元（1 元は約 20.6 円）、利益総額は 2 兆 6,000 億元、親会社株主に帰属する当期純利益は 1 兆 1,000 億元となり、質の高い安定的な成長を実現した。固定資産投資（不動産を含む）は前年同期比 11.4%増の累計 5 兆 900 億元、戦略的新興産業への投資は同 32.1%増の累計 2 兆 1,800 億元だった。中央企業の研究開発投資は 1 兆 1,000 億元となり、2 年連続で 1 兆元の大台を超えた。(1/25 人民網)

## 【トピックス】

- 1、**工業情報化部による人型ロボット分野に対する戦略展開及び大規模な商業化元年について**：工業情報化部党組が『求是』誌に投稿した記事では、産業構造の最適化・アップグレードが新型工業化の内在的な要求によるものだと観点を掲げた。未来産業に対し将来を見据えた計画をたて、政策による誘導を強化し、人工知能、人型ロボット、量子など未来産業の競争分野を開拓する。国海証券・アナリスト李航氏の分析によると、人型ロボットでは供給側が率先して生産を強化し、海外のベンチマーク企業による製品のバージョンアップや商業化推進のもと、2024 年には工場における人型ロボットの大規模応用化が見込まれる予定。もう一方では、中国系企業は人型ロボット産業に意欲的に参入し、2023 年の新製品発表数は急増、将来には有望な大手「プレイヤー」との積極的な連携により、新たな産業発展ブームを生み出す見通しである、とのこと。(1/2 財聯社)
- 2、**中国企業 15 社が CES 2024 イノベーションアワードを受賞**：米国ラスベガス CES 2024（家電 IT 見本市）は 1 月 12 日に閉幕した。中国企業計 15 社の技術と製品は CES 2024 イノベーションアワードを受賞した。今年の選考対象製品は 2023 年比で 40%増の計 3,000 点超で、史上最高記録を更新した。カテゴリ別に見ると、選考応募数が最も多いのは「デジタルヘルス」と「持続可能な発展、エコ設計とスマートエネルギー」という 2 カテゴリであった。(1/13 CCTV ニュース)

**3、鴻蒙ネイティブアプリ、年内に一般ユーザーが使用可能に:**「鴻蒙星河バージョンは今年第4四半期(10-12月)に一般ユーザー向けに正式に商用化される」。18日の「鴻蒙エコシステム千帆出港発表会」で、華為(ファーウェイ)が独自開発した基本ソフト(OS)「鴻蒙(HarmonyOS)」の次期バージョン「HarmonyOS NEXT(鴻蒙星河バージョン)」が正式に発表された。華為の余承東常務取締役は発表会で、「鴻蒙エコシステムのデバイスは現時点で8億台に増えている。すでに200社以上の大手アプリが鴻蒙ネイティブアプリの開発を加速している」と述べた。(1/19 人民網)

**4、工業・情報化の最新成長実績:10大重点業界の平均成長率5%超え、5G基地局337万局超:**1月19日、国務院新聞弁公室は2023年の工業・情報化成長状況について記者会見を開き、新エネルギー自動車、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、5G、新3種(EV車、リチウム電池、ソーラー電池)などは同年度のキーワードとして浮上してきた。同記者会見によると、現在、中国では、インダストリアルインターネットは既に大規模化発展の新段階に入っている。産業規模から見ると、2023年のコア産業規模は1.35兆元にも上る見込みである。そのうち10大重点業界の平均成長率は5%を超え、整備済み5G基地局は計337.7万局である。(1/20 時代週報)

**5、アウトドアスポーツ人気で起こる消費ブーム 2025年は62兆円産業に:**2023年に全国で新たに設立されたアウトドアスポーツ関連の企業は、前年同期比92.78%増の6万7000社に達した。清華大学スポーツ産業発展研究センターの王雪莉センター長は、「アウトドアスポーツ関連の産業計画によると、2025年までに産業の全体的規模が3兆元(1元は約20.6円、約61.8兆円)に達することが目標で、24年はこの目標の達成に向けた重要な年になる。各地も24年のアウトドアスポーツ産業発展の一部の事業展開をスタートさせている。24年には消費者の消費体験、スポーツ体験、レジャー・リゾート体験がさらに向上するだろう」と述べた。(1/25 人民網)

## 【中国各省两会(人民代表大会・政治協商会議)報告】

### 【甘肅省】科学技術進歩寄与率が60%に

甘肅省两会報告によると、甘肅省は2023年に科学技術成果実用化総合サービスプラットフォームを完成させた。技術契約の成約額は38.3%増となり、科学技術進歩寄与率が初めて60%に達した。(1/25 科技日報)

### 【山西省】総合科学技術イノベーション水準指数は60.27%に

江西省两会報告によると、江西省は過去1年で国家級中小企業特色産業クラスターを10ヶ所育成し、国家イノベーション型産業クラスターを2ヶ所新設し、計8カ所になった。専精特新(専門化・精密化・特徴化・新規性)の小巨人企業(高い成長性または大きい発展のポテンシャルを持つテクノロジーイノベーション中小企業)は56社増で計255社に達した。戦略的新興産業の付加価値額は9.1%増、設備製造業は10%増となった。(1/25 科技日報、人民網)

### 【浙江省】2024年の研究開発投資が対GDP比3.2%を予想

浙江省两会報告によると、浙江省の2023年の教育・科学技術人材活動は効率的に協同し、「315」科学技術イノベーション体系建設プロジェクトを開始した。社会全体の研究開発投資強度は3.15%に達し、エリアイノベーション能力で全国4位となった。浙江省の産業構造の最適化と高度化が加速している。デジタル経済中核産業製造業の付加価値額は8.3%増、ハイテク産業は7%増、戦略的新興産業は6.3%増で、一定規模以上の工業企業(年売上高2,000万元以上の企業)のデジタル化改造カバー率は75%以上に達した。(1/25 科技日報、人民網)

## 【大阪・中国ビジネスセミナー速報】

1月23日、大阪で開催した中国ビジネスセミナー「日中製造業の発展と中国市場でのビジネスチャンス」に日本製造業関連企業約50名が参加した。(大阪府上海事務所((公財)大阪産業局上海代表処)・FNA共同主催)。セミナーでは日本を始め世界各地のマーケットに配膳・清掃ロボット事業を展開する中国のKEENON Robotics社と、中国市場で長年精密測定機器の普及に尽力してきたミットヨ社を講師に招き、海外へと事業を拡大する中国企業の成長の見通しや、日本企業の中国ビジネス戦略について講演頂いた。講演後、製造業における中国市場の捉え方やビジネスチャンス、市場開拓におけるノウハウ等情報交換を含めた活発な意見交換が行われた。



## 【イベント】

【来場募集中】FBC 広州 2024in GIT 工業展 2024年3月4-6日 広州中国輸出入商品交易会展示館

【出展募集中】FBC 深セン 2024in ITES 工業展 2024年3月28日-31日 深セン国際会展中心

【出展募集中】FBC 上海 2024in NEPCON 電子工業展 2024年4月24-26日 上海世博展覽館

\* (公財)大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国(上海)ビジネスサポート  
ファクトリーネットワークチャイナ (工場網信息科技(上海)有限公司)

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室